

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.38</b>					<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>			<b>2.5</b>	0.16	<b>3.4</b>	1.00		<b>2.9</b>
<b>1.1 騒音</b>			<b>2.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.40		
1	暗騒音レベル	(住居部分)外部騒音値:67dB、サッシ遮音等級T-2より暗騒音レベル:67-30=37dB	2.0	1.00	4.0	1.00		
2	設備騒音対策		-	-	-	-		
<b>1.2 遮音</b>			<b>4.7</b>	0.29	<b>4.2</b>	0.40		
1	開口部遮音性能	遮音性能はT-2である。	5.0	0.87	5.0	0.30		
2	界壁遮音性能		3.0	0.13	3.0	0.30		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	(住居部分)L=40。	-	-	5.0	0.20		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	(住居部分)L=50。	-	-	4.0	0.20		
<b>1.3 吸音</b>			<b>1.0</b>	0.21	<b>1.0</b>	0.20		
<b>2 温熱環境</b>			<b>1.3</b>	0.36	<b>3.0</b>	1.00		<b>1.9</b>
<b>2.1 室温制御</b>			<b>1.2</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00		
1	室温設定		1.0	0.53	-	-		
2	負荷変動・追従制御性		-	-	-	-		
3	外皮性能		2.0	0.30	3.0	1.00		
4	ゾーン別制御性		1.0	0.17	-	-		
5	温度・湿度制御		-	-	-	-		
6	個別制御		-	-	-	-		
7	時間外空調に対する配慮		-	-	-	-		
8	監視システム		-	-	-	-		
<b>2.2 湿度制御</b>			<b>2.0</b>	0.20	-	-		
<b>2.3 空調方式</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-		
<b>3 光・視環境</b>			<b>3.0</b>	0.23	<b>3.7</b>	1.00		<b>3.2</b>
<b>3.1 昼光利用</b>			<b>3.9</b>	0.34	<b>3.5</b>	0.50		
1	昼光率	昼光率は共用部分で3.75%、住居部分で1.79%である。	5.0	0.47	4.0	0.50		
2	方位別開口		-	-	3.0	0.29		
3	昼光利用設備		3.0	0.53	3.0	0.21		
<b>3.2 グレア対策</b>			<b>3.0</b>	0.24	<b>4.0</b>	0.50		
1	照明器具のグレア		-	-	-	-		
2	昼光制御	(住居部分)庇及びカーテンによる昼光制御である。	3.0	1.00	4.0	1.00		
<b>3.3 照度</b>			<b>3.0</b>	0.12	-	-		
1	照度		3.0	1.00	-	-		
2	照度均斉度		-	-	-	-		
<b>3.4 照明制御</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-		
<b>4 空気質環境</b>			<b>3.5</b>	0.26	<b>3.7</b>	1.00		<b>3.6</b>
<b>4.1 発生源対策</b>			<b>4.0</b>	0.55	<b>4.0</b>	0.63		
1	化学汚染物質	全面的にF☆☆☆☆を使用している。	4.0	1.00	4.0	1.00		
2	アスベスト対策		-	-	-	-		
3	ダニ・カビ等		-	-	-	-		
4	レジオネラ対策		-	-	-	-		
<b>4.2 換気</b>			<b>3.0</b>	0.35	<b>3.3</b>	0.38		
1	換気量	基準法の1.25倍の換気量である。	4.0	0.50	3.0	0.33		
2	自然換気性能	(住宅部分)LDの自然換気性能(窓面積/床面積):0.150	-	-	4.0	0.33		
3	取り入れ外気への配慮		2.0	0.50	3.0	0.33		
4	給気計画		-	-	-	-		
<b>4.3 運用管理</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-		
1	CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.48	-	-		
2	喫煙の制御		3.0	0.52	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>			-	<b>0.30</b>	-	-		<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>			<b>2.4</b>	0.40	<b>4.0</b>	1.00		<b>3.0</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>			<b>3.0</b>	0.55	<b>5.0</b>	0.60		
1	広さ・収納性		-	-	-	-		
2	高度情報通信設備対応	(住居部分)Gbitクラスのブロードバンド環境が整備されている。	-	-	5.0	1.00		
3	バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
<b>1.2 心理性・快適性</b>			<b>1.5</b>	0.37	<b>2.5</b>	0.40		
1	広さ感・景観	住居部分の天井高さは2.51m。	5.0	0.14	4.0	0.50		
2	リフレッシュスペース		1.0	0.14	-	-		
3	内装計画		1.0	0.72	1.0	0.50		
<b>1.3 維持管理</b>			<b>3.0</b>	0.08	-	-		
1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>3.0</b>	0.31	-	-		<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>			<b>3.0</b>	0.48	-	-		
1	耐震性		3.0	0.80	-	-		
2	免震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>			<b>2.8</b>	0.33	-	-		
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-		
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管(VLP):B、排水管(VP):B、空調冷媒管(CUP):C 2種類以上にBを使用し、Cは不使用。	5.0	0.15	-	-		
6	主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新			-	-	-	-	-
2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	汚水槽の設置及び受水槽の二重化を行っている。	5.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.1	0.29	4.0	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり			4.0	0.16	4.0	1.00	-
1	階高のゆとり	住居部分の階高は3.3m以上。	4.0	0.52	-	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比:0.140	4.0	0.48	4.0	1.00	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.16	-	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.69	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.32	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	デッキ広場による中間領域の形成や、防犯カメラの設置がある。	4.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制		省エネルギー等級4である。	4.3	0.28	-	-	4.3
2 自然エネルギー利用			2.7	0.22	-	-	2.7
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.5	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		高効率な設備計画をおこなっている。 ERR=31.8	4.8	0.38	-	-	4.8
4 効率的運用			3.0	0.12	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.83	-	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.17	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメントB種	4.0	0.20	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	床:磁器質タイル、床:ビニル床タイル、天井:岩綿吸音板	5.0	0.20	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+LGS+仕上げにより躯体と仕上げを容易に分別可能である。	4.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	-
1	消火剤		3.0	0.33	-	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮		排出率:82%	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善	見付け面積比:44%、屋根緑化等面積率:2.87%	4.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制	附置義務台数を満たす駐輪場及び駐車場を計画している。	5.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストを一部満たしている。 広告物照明のチェックリストの過半を満たしている。	4.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-